

しょう ふうしけいかく ぶ 障がい福祉計画の部

だい しょう しょう ふうしけいかく 第4章 障がい福祉計画

1 しょう ふうしけいかく きほんりねん 1 障がい福祉計画の基本理念

(1) しょう しゃ じ こけつてい じ こせんたく そんちよう (1) 障がい者の自己決定と自己選択の尊重

しょう しょう とうむ わ へだ そうご じんかく
障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と
こせい そんちよう あ きょうせい しゃがい じつげん しょう
個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、障がいの
ひと じぶん す ばしょ えら ひつよう しょうがいふくし しえん
ある人が自分で住む場所を選び、必要な障害福祉サービスの支援を
う じりつ しゃかいさんか じつげん はか きほん
受けながら、自立と社会参加の実現を図っていくことを基本として、
サービス提供基盤の整備を進めます。

(2) さんしょう いちげんか (2) 三障がいの一元化

しんたいしょう ちてきしょう せいしんしょう かか しょうがいふくし
身体障がい、知的障がい、精神障がいに係る障害福祉サービ
いちげんてき せいど ていきよう
スを、一元的な制度のもとに提供します。

(3) ちいきせいかついこう しゅうろうしえんなど かだい たいおう きばん せいび (3) 地域生活移行や就労支援等の課題に対応したサービス基盤の整備

しょう しゃ せいかつ しゅうろう ちいきぜんたい ささ たいせい ととの
障がい者の生活や就労を地域全体で支える体制を整えるため、
ちいき ふくしりよく かつよう きばんせいび すす
地域の福祉力も活用して基盤整備を進めます。

2 しょうがいふくし きほんてき かんが かつ 2 障害福祉サービスについての基本的な考え方

(1) ひつよう ほうもんけい ほしょう (1) どこでも必要な訪問系サービスを保障

(2) きぼう しょう しゃ にちちゅうかつどうけい ほしょう (2) 希望する障がい者に日中活動系サービスを保障

(3) など じゅうじつ はか しせつにゅうしょ にゅういん ちいきせいかつ いこう すいしん (3) グループホーム等の充実を図り、施設入所・入院から地域生活への移行を推進

(4) ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこうなど すいしん (4) 福祉施設から一般就労への移行等を推進

3 平成26年度の数値目標

(1) 障害福祉サービスに関する目標

目標値の設定にあたっては、国の基本指針や北海道の計画作成指針に掲げる目標に即し、札幌市の実情に応じた目標値を設定しています。

項目	目標値	備考
入所施設の入所者の地域生活への移行者数	760人	平成17年10月から
入所施設の入所者数の減少見込数	450人	平成27年3月までの累計
福祉施設から一般就労への移行	200人	平成26年度において福祉施設を退所し、一般就労した方の数
福祉施設利用者のうち、就労移行支援事業の利用者数(割合)	510人 (5%)	
就労継続支援事業の利用者のうち、就労継続支援A型事業の利用者数(割合)	1,080人 (25%)	

障害福祉サービスに関する数値目標・サービス見込量の数値は、現時点での集計値であり、今後、国及び北海道の策定指針等をふまえ再整理します。

入院中の精神障がい者の地域生活への移行に関する数値目標については、国及び北海道の策定指針等を踏まえ、障害者施策推進協議会等の関係機関とも協議を行ったうえで設定します。

(2) 障 がいのある人に対する理解促進に関する目 標
 (札幌市独自に設定する目 標)

こ う も く 項 目	す う ち も く ひ ょ う 数 値 目 標	び こ う 備 考
し ょ う 障 がいのある人にとっ ち い き く て地域で暮らしやすいま ちであると思う障 がい の 有 り あ い ある人の割合	50%	
し ょ う 障 がいのある人にとっ ち い き く て地域で暮らしやすいま ちであると思う人の割合	50%	

すうちもくひょう 1 にゅうしょせつ にゅうしょしゃ ちいきせいかつ いこう
数値目標 1 入所施設の入所者の地域生活への移行

にゅうしょせつ ちいきせいかつ いこうしゃすう
入所施設から地域生活への移行者数

くに きほんししん
< 国の基本指針 >

へいせい ねん がつ にち しせつにゅうしょしゃ へいせい ねんどまつ
 平成17年10月1日の施設入所者のうち、平成26年度末におい
 わりいじょう かた ちいきせいかつ いこう めざ
 て3割以上の方が地域生活へ移行することをめざす。

ほっかいどう さくせいししんあん
< 北海道の作成指針案 >

くに おな
 国に同じ。

さっぽろし もくひょう
< 札幌市の目標 >

へいせい ねん がつ にち しせつにゅうしょしゃ にん へいせい ねんど
 平成17年10月1日の施設入所者2,528人のうち、平成26年度
 まつ へいせい ねん がつまつ にん やく わり かた ちいきせいかつ
 末(平成27年3月末)において760人(約3割)の方が地域生活に
 いこう めざ
 移行することをめざします。

	ねん がつ H17年10月～ ねん がつ H20年9月	ねん がつ ～H22年9月	へいせい ねん がつ ～平成27年3月
ちいきいこうしゃすう 地域移行者数 るいけい 累計	にん 234人	にん 373人	にん 760人

ほっかいどうしら
 北海道調べ

施設入所者数の減少

<国の基本指針>

平成26年度末の施設入所者数が、平成17年10月1日の施設入所者数から1割（10%）以上減少する。

<北海道の作成指針案>

平成26年度末の施設入所者数が、平成17年10月1日の施設入所者数から18%以上減少する。

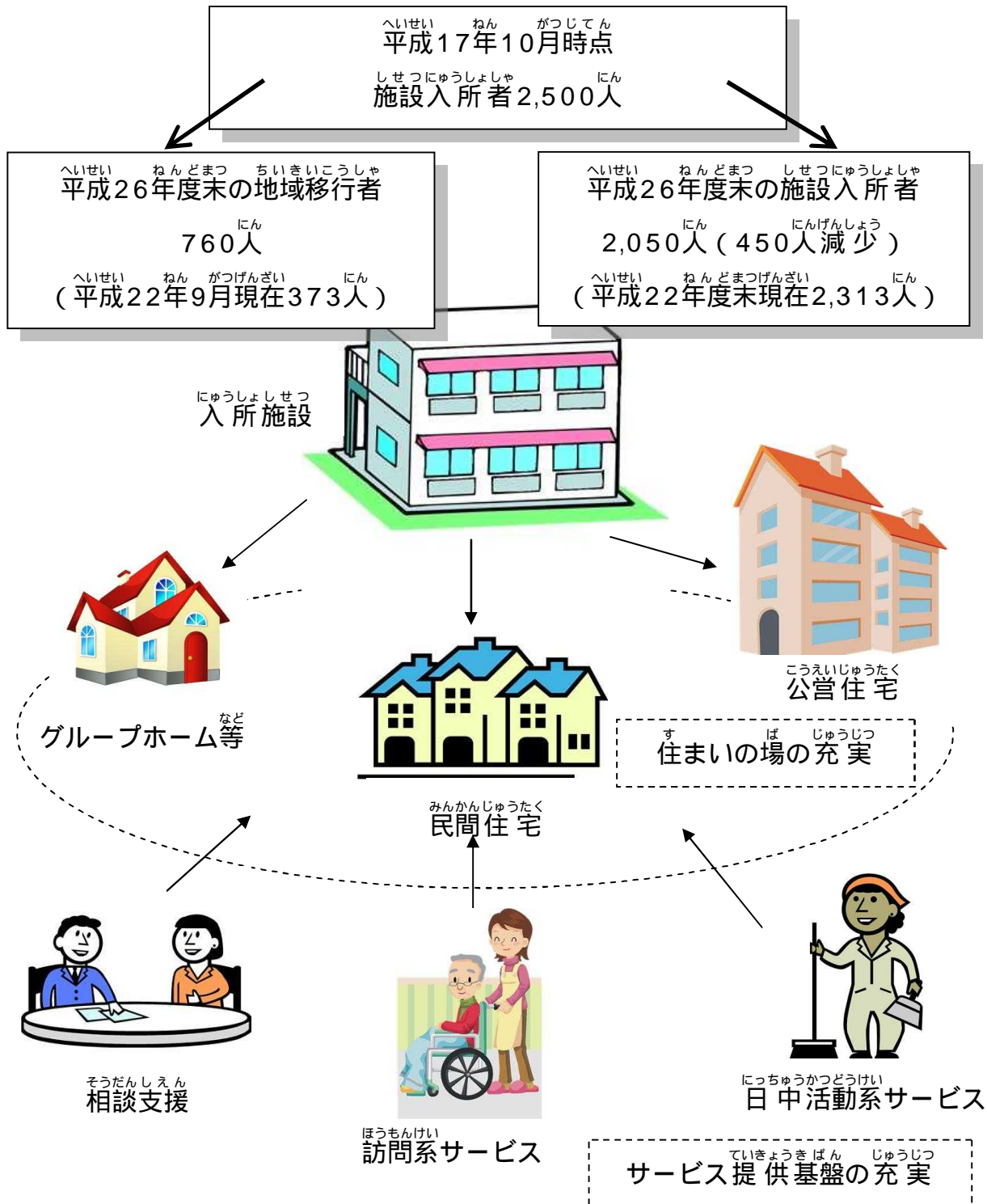
<札幌市の目標>

平成26年度末の施設入所者数が、平成17年10月1日の施設入所者数2,528人から450人（約18%）減少することを目指します。

	H17年10月	H22年度末	H26年度末
施設入所者数	2,528人	2,313人	2,078人
減少数累計	-	215人	450人

にゅうしょせつにゅうしょしゃ ちいきせいかつ いこう
 <入所施設入所者の地域生活への移行イメージ>

へいせい ねんど へいせい ねんど ちいきいこうしゃ みこ
 平成18年度から平成26年度 地域移行者の見込み



すうちもくひょう 2 ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこう
数値目標 2 福祉施設から一般就労への移行

ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこうしゃすう
福祉施設から一般就労への移行者数

くに きほんししん
<国の基本指針>

へいせい ねんど 26 において、ふくししせつ りょうしゃ いっぱんしゅうろう
 平成26年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への
 いこうしゃすう へいせい ねんど 17 において、いこうじっせき ばいじょう
 移行者数を、平成17年度の移行実績の4倍以上とする。

ほっかいどう さくせいししんあん
<北海道の作成指針案>

くに おな
 国に同じ。

さっぽろし もくひょう
<札幌市の目標>

へいせい ねんど 26 において、ふくししせつ りょうしゃ いっぱんしゅうろう
 平成26年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への
 いこうしゃすう へいせい ねんど 17 において、いこうじっせき にん やく ばい 200 にん
 移行者数を、平成17年度の移行実績22人の約9倍（200人）と
 することを目指します。

	ねんどまつ H20年度末	ねんどまつ H22年度末	ねんどまつ H26年度末
いっぱんしゅうろう 一般就労への いこうしゃすう 移行者数	にん 74人	にん 182人	にん 200人

ほっかいどうしら
 北海道調べ

しゅうろういこうしえんじぎょう りようしゃすう
就労移行支援事業の利用者数

くに きほんししん
<国の基本指針>

へいせい ねんどまつ ふくししせつ りようしゃ わりいじょう かた
 平成26年度末における福祉施設の利用者のうち、2割以上の方
 しゅうろういこうしえんじぎょう りよう
 が就労移行支援事業を利用。

ほっかいどう さくせいししんあん
<北海道の作成指針案>

くに おな
 国に同じ。

さっぽろし もくひょう
<札幌市の目標>

へいせい ねんどまつ ふくししせつ りようしゃみこみ にん
 平成26年度末における福祉施設の利用者見込9,880人のうち、
 にん かた しゅうろういこうしえんじぎょう りよう めざ
 510人(5%)の方が就労移行支援事業を利用することをめざ
 す。

	H22年度末 ねんどまつ	H26年度末 ねんどまつ
ふくししせつ りよう にんずう 福祉施設を利用する人数	5,876人 にん	9,880人 にん
しゅうろういこうしえんじぎょう りよう にんずう うち就労移行支援事業を利用する人数	354人 にん	510人 にん
わりあい (割合)	(6%)	(5%)

しゅうろうけいぞくしえん がたじぎょう りようしゃすう
就労継続支援A型事業の利用者数

くに きほんししん
<国の基本指針>

へいせい ねん どもつ しゅうろうけいぞくしえんじぎょう りようしゃ わり
 平成26年度末において、就労継続支援事業の利用者のうち、3割
 しゅうろうけいぞくしえん がたじぎょう りよう
 は就労継続支援A型事業を利用。

ほっかいどう さくせいししんあん
<北海道の作成指針案>

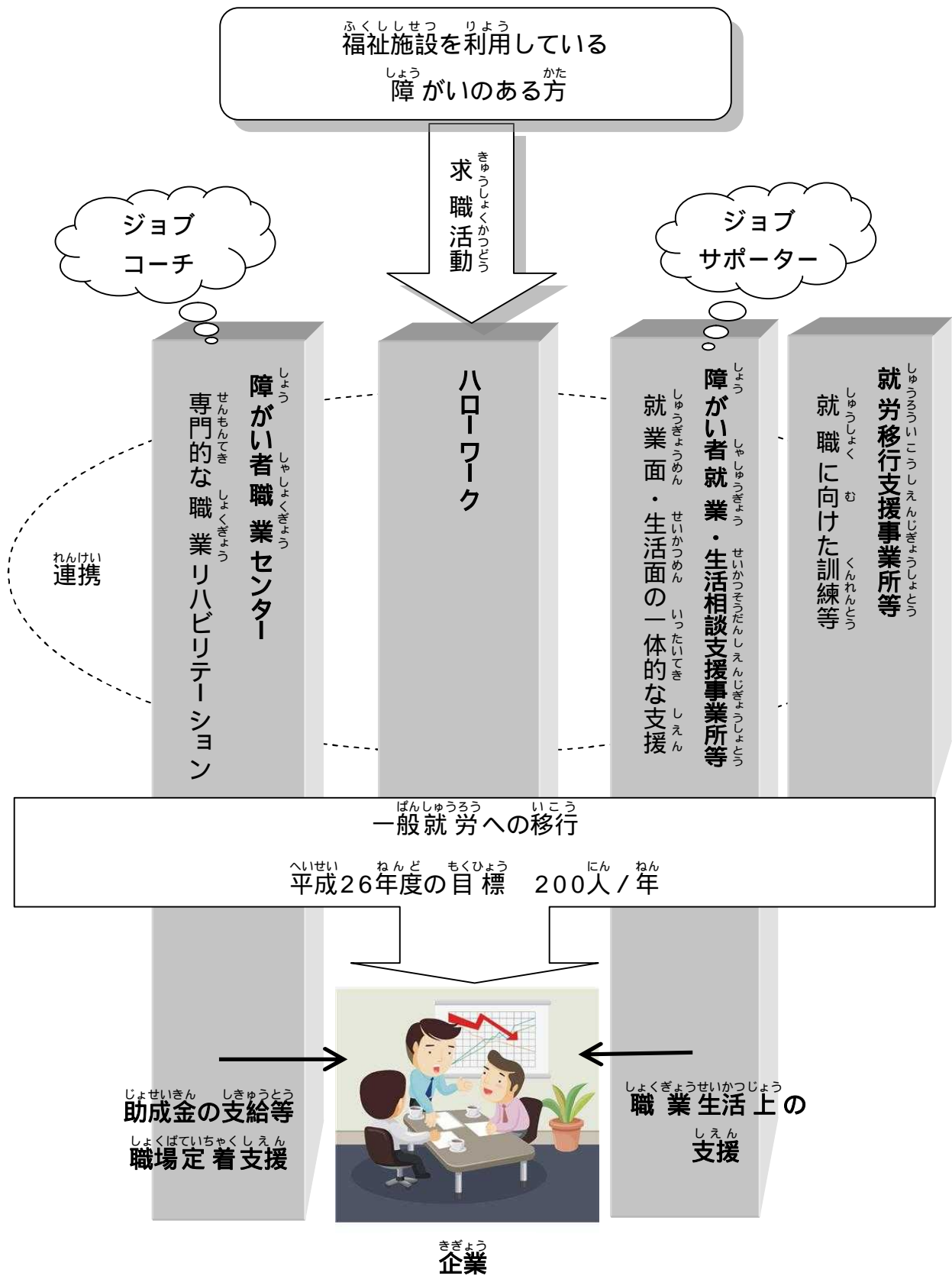
くに おな
 国に同じ。

さっぽろし もくひょう
<札幌市の目標>

へいせい ねん どもつ しゅうろうけいぞくしえんじぎょう りようしゃみこみ
 平成26年度末において、就労継続支援事業の利用者見込4,240
 にん かにん かた しゅうろういこうしえん がたじぎょう りよう
 人のうち、1,080人(25%)方が就労移行支援A型事業を利用す
 ることを目指します。

	H22年度末 ねん どもつ	H26年度末 ねん どもつ
しゅうろうけいぞくしえんじぎょう りよう にんずう 就労継続支援事業を利用する人数	2,783人 にん	4,240人 にん
しゅうろうけいぞくしえん がたじぎょう りよう にんずう うち就労継続支援A型事業を利用する人数	700人 にん	1,080人 にん
わりあい (割合)	(25%)	(25%)

ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこう
 <福祉施設から一般就労への移行イメージ>



すうちもくひょう 3 しょう ひと たい りかいそくしん
数値目標 3 障がいのある人に対する理解促進

しょう ひと ちいき く おも しょう
 障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う障がい
 ひと わりあい へいせい ねんどまつ めざ
 のある人の割合が、平成26年度末において 50%となることを目指し
 ます。

また、しょう ひと ちいき く おも
 障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う
 ひと わりあい へいせい ねんどまつ めざ
 人の割合が、平成26年度末において 50%となることを目指します。

	H22年度	H26年度
しょう ひと ちいき く 障がいのある人にとって地域で暮らし すいまちであると思う障がいのある人の わりあい 割合 H22年度は、「しょう ひと たい りかい ふか 障がいのある人に対する理解が深ま ってきていると思うしょう ひと わりあい 障がいのある人の割合」を すいけいち きさい 推計値として記載。	すいけいち 【推計値】 29.8%	50%
しょう ひと ちいき く 障がいのある人にとって地域で暮らし すいまちであると思う人の割合	29.7%	50%

さっぽろし じっし ちょうさ
 札幌市が実施するアンケート調査